

みんなで楽しむ！

芦／湖サロン

芦／湖サロンは地域の人たちの参加で作り上げる、みんなが気軽に集まれる場所です。あなたも参加して一緒に芦／湖サロンを楽しい会にしませんか？
気軽に集まれる場所が近所にあるっていいですね。



日 時：令和6年11月20日（水） 11：00～

場 所：元箱根集会所集合

**内 容：みんなで豚汁他お楽しみを
食べましょう！！**

参加費：お茶代として一人100円

（内容により変更するときがあります）



お問い合わせ：箱根町社会福祉協議会 担当：北村

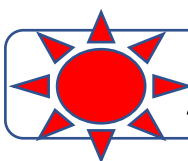
電話番号 → 85-9000

仙石原文化センターまつりに参加して 健康とポイントをゲットしよう！！

町（保険健康課）では、「出張健康測定会」と「簡単に組みあわせる運動（動画）の体験」を行う予定です。

出張健康測定会は、「血管年齢の測定」と「骨の健康度測定」を行います。各測定の所要時間は、1～2分程度です。申し込みの必要はありません。お気軽にお越しください。結果もすぐにお返しできます。（子どもの測定はできません。）

動画は、1コマ2～3分程度のものが2種類です。



これらのコーナーへの参加で、「はこね健康ポイント」3ポイントが
ゲットできます。

【日時】12月1日（日）10時30分～14時30分

【場所】仙石原文化センター

いろんなことがわかるのね。簡単に
できるならやってみようかしら！！

【費用】 無料

【どんなふうに測定するの？】※どの検査も簡単で痛みなどはありません。

- **血管年齢測定**～センサーに指を乗せて血管の弾力性をチェックします。
- **骨の健康度測定**～手首の骨に音を透過させることで、その透過時間などから骨の健康度を測定します。



○ **動画は、タオル体操やリズム体操で、椅子に腰かけてもできる**簡単な内容です。スキマ時間に行うと背筋が伸びて気持ちがいいです。

【その他】 ～さくら館からのご案内～

さくら館 1 階には、未病コーナーが設置してあり、いつでも血管年齢測定や骨の健康度測定などができます。詳しくは、裏面をご覧ください。

また、さくら館の 3 階にある「温水プール」を健康づくりに活かしましょう。さくら館利用者のための送迎車両も運行しています。（運行の詳細は、さくら館にお問い合わせください。【電話 85-0800 さくら館】送迎車両は予約制です。）

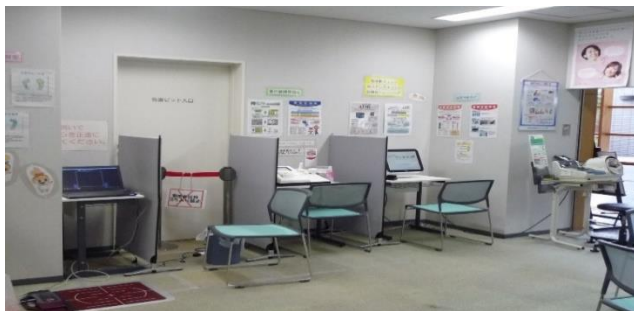
未病センターはこね

★ さくら館1階・平日8:30~17:00★

～ ME-BYO (未病) コーナーさくら ～

* ご存じですか? 「未病」

ここまでは健康、ここからは病気と明確に区分できるものではなく、健康と病気の間で、連続的に変化している状態を「未病」といいます。



* 「未病を改善する」とは?

病気になってから対処するのではなく、普段から、日々の生活において心身を整え、健康な状態に近づけることです。

そのために必要なことは、「食」「運動」「社会参加」など、毎日の習慣です。



ミビョーナ・ミビョーネ

* 未病コーナーの内容

・健康機器で健康チェック! 測定できる内容は4項目です。

- 脳年齢・・・1~25の数字を画面にタッチ。“今日”のあなたのアタマは何歳ですか?
- 血管年齢・・・人差し指を使って、血管の弾力を16秒で測定!
- 骨の健康度・・・5段階(A~E)で、骨の健康度を判定。手首で簡単に測定!
- 足裏・重心バランス・・・足底圧を測り、足の状態と姿勢をチェック

・保健師、栄養士のアドバイス!

気になる数値はもちろん、健診結果や日ごろの生活習慣について、いつでもご相談ください。

・未病情報コーナー!

健康教室のご案内。健康レシピの紹介など、いつでもホットな情報をお届けします。

さくら館温水プールのご案内

〈開館時間〉 9:00~20:00 (入館は19:30)

〈休館日〉 毎週月曜日(祝日は除く)、祝日の翌日(土曜日、日曜日にあたるときは除く)
年末年始(12月29日~1月3日)、プール設備定期点検時(1月下旬予定)

〈利用料金〉 大人(高校生以上) 1回300円/人・小人(小・中学生) 1回100円/人

※ 定期券や回数券もあります。水着と水泳帽をお持ちください。

照会先: 保険健康課健康推進係(さくら館内) 電話(85)0800



箱根町社会福祉協議会より



令和 6 年度
年末たすけあい運動にご協力お願いします！

受付期間：12 月 1 日（日）～12 月 31 日（火）



この運動は、だれもが住みなれた地域で安心して生活していくために、住民の「たすけあい」をもととした福祉のまちづくりを進めるものです。

この運動へ寄せられた寄付金は、町内の生活支援を必要とする世帯に「年末慰問金」として直接お贈りするほか、社会福祉協議会が実施する地域福祉活動事業費に使われます。

この運動の趣旨をご理解のうえ、“たすけあい”の心を持って、町の地域福祉の推進のため、ぜひご協力をお願いいたします。

共同募金の一環である「年末たすけあい運動」への寄付には、税制上の優遇措置があります。詳しくは本会ホームページをご覧ください

<https://hakone-shakyo.jp/>

募金
受付

箱根町社会福祉協議会（神奈川県共同募金会箱根町支会）

TEL 0460-85-9000 担当 栢沼 山本

裏面に前年度募金実績と募金の活用実績を掲載しています



令和 5 年度募金実績報告

募金総額 1,688,098 円 ご協力ありがとうございました！

(内訳) 戸別募金 1,020,375 円 法人募金 636,100 円 職域募金 26,623 円 その他募金 5,000 円

集まった募金は、町内の生活支援を必要とする世帯に
「年末慰問金」として配分をさせていただきました。



年末たすけあい募金は、その他このような取組に活用しています



住民の「憩いの場」サロン活動や、福祉活動を行う地区社協の活動支援など



ボランティアの育成や活動助成、福祉教育や災害時のボランティア活動費など



児童や高齢、障がいに関する福祉事業や、災害見舞金など



生活困窮に関する支援（食料のおすそ分け）など

～“たすけあい”“ささえあい”のご協力をお願いいたします～

箱根町社会福祉協議会（神奈川県共同募金会箱根町支会）

箱根町青少年指導員連絡協議会

ふゆ はこね 冬の箱根

ほしぞらかんしょうかい ～星空観賞会～

冬の澄んだ箱根の夜空は星がとてもよく観えます。

みんなで一緒に星空の観賞や星座にちなんだ工作をしませんか？

日 時	令和7年1月25日（土）17：15～19：00 【受付開始 17：00】 【雨天決行】
場 所	箱根中学校（体育館・グラウンド）
内 容	星空観賞・プラネタリウム・工作 （詳細は裏面へ）
講 師	おさんぽ星 代表 山口珠美さん
参 加 者	町内の小学生・中学生・保護者
定 員	40名（定員を超えた場合は抽選）
参 加 費	無料
持 ち 物	室内履き・暖かい服装・マスク・懐中電灯（ライト） （筆記用具、飲み物などその他自由にご用意ください）
申込期限	12月6日（金）
申込み先	箱根町立小中学校（学校から申込用紙を配付）または 箱根町青少年指導員連絡協議会（電話・メール・FAX）
問合せ先	事務局 箱根町教育委員会生涯学習課 電話 0460-85-7601 FAX0460-85-7200 メール shougai@town.hakone.kanagawa.jp

【イベントの行程】

- 17:00 体育館 受付開始
- 17:15 集合・自己紹介
- 17:30 星座にちなんだ工作
- 18:00 プラネタリウム
- 18:30 グラウンドへ移動
星空の観賞
- 19:00 解散

※ 雨天時は、星空観賞の時間分
プラネタリウムの時間を増やします。



【講師のご紹介】

おさんぽ星

代表 山口珠美 さん

箱根を拠点に、移動式のプラネタリウムや星空観察会、地球や宇宙に関する工作・実験教室を出張形式で実施しています。

【小中学生のみの参加】

小中学生だけで参加される場合は、青少年指導員が地域の集合場所（バス停等）から付き添います。

お申し込み後、個別に調整させていただきます。

箱根町青少年指導員連絡協議会とは・・・

「青少年の健全育成」を目的に神奈川県と箱根町から委嘱・任命されているボランティアです。会では各地域で行う地域活動（夜間パトロールや地域のお祭りへの協力など）のほか、「体験活動部会」「ジュニアリーダー養成部会」「広報部会」の3つの部会が活動しています。

また、「社会環境健全化推進街頭キャンペーン」や「こども110番の家事業」など県や町のさまざまな事業に協力しています。

りずむ No.6

令和6年10月23日

箱根町立湯本幼児学園



◎箱根一貫教育の合言葉

『箱根を愛し かしく やさしく たくましく』

◎湯本幼児学園個性化目標

『異年齢保育を生かした園づくり』

10月後半に入りましたが、今年は夏日というワードがまだ聞かれますが、ふと見あげるとカラスウリやあけびなど秋が感じられます。

子ども達はスポーツデーを経験し、引き続き高みを目指して挑戦は続いています。子どもの力は無限であり、日々ひたむきに遊びこむ姿に感動をもらっています。

3歳児ぺんぎん組
バウバトのキャラクター
に変身して運動遊び。
最後は肩車をしておに
ぎり山のご褒美を取り
に行きました！



大玉ドッジボール



はーとvsきりん

はーとvsお父さん



スポーツの秋 「スポーツデー」

「私たち、リレー、はやいから！」
さすが1年生！
かっこよかったよ！ありがとう☆



それぞれがヒー
ロー！チーム決
めは子ども達。
勝っても負けて
も次がある！



消防隊出動！
消防車を乗って火を
消しに！（未就園児）



メンテナンスデー(9/26)

45Lのビニール袋 80 個分の草や木
を刈っていただき、きれいになった園
庭でスポーツデーが開催されました。
保護者の皆様、ありがとうございます。

読書の秋

子ども達は絵本が大好き！お話の世界にぐっと入って楽しめます。創造性が豊かな子どもに育っています。湯本小元校長・西田先生がいらして楽しい読み聞かせをしてくださっています。子どもは様々な人の読み聞かせに触れ、心を耕していきます。保護者の皆様も読み聞かせにご参加くださると嬉しいです。



4歳児きりん組

出来ることが増えたき
りん組。親子で運動遊び
にチャレンジしました。



5歳児はーと組

大好きな絵本・主人公わ
んぱくだんになりきり様々
な難関を今まで挑戦して
きた力で乗り越えました。



食欲の秋

給食試食会(10/21)

何年かぶりに給食試食会
が行われました。お子さんの
食べている様子を見た後は
給食の試食！メニューはご
はん、おととがんと、ミモザ
サラダ、大根の味噌汁、オレ
ンジでした。





箱根教育合言葉

箱根を愛し かしく やさしく たくましく

令和6年10月16日 宮城野保育園 発行

秋になり園庭にはトンボが飛び交っています。虫を捕まえることが大好きな子どもたちは、夢中になって虫取り網を持っています。虫取り網にも人気なものがあります。それは網に穴が空いてないこと、網が曲がってないことが条件です。虫取りに夢中になればなるほど網は傷んでいきます。ある日人気の網がなくなりました。そこで縫ったり直したりするのが得意な保育者が洗濯ネットをきれいに縫って網に再生しました。昨日まで人気のなかった網が大復活をとげ、大人気に！幼児期に物を大切に扱うこと、環境を通して学ぶことが大事なことだと考えます。そして虫かごも！どうしても虫かごの網の部分の部分が欠損しがちですが再生したら、子ども達はそれを持って探検に出かけるようになりました。周りにいる大人が見本となるように、生活を丁寧にする事で、子ども達の行動は変わっていくものだと感じました。壊れたままや汚れたままで生活するよりも気持ちよく生活し子どもたちの「やってみたい」を実現するために環境を大事にしていきたいです。

3. 4.5歳児運動遊びの日

秋晴れの空の下、保護者の方と共に運動遊びを楽しみました。日頃園で楽しんでいる遊びややってみたいことを盛り込み笑顔で楽しむことができました。保護者の競技ではどの保護者も笑顔で楽しんでいる様子が伺われ、子ども達は園児席から立ち上がり、大きな声で応援していました。とにかく楽しむこと！楽しい気持ちが伝わりやる気につながりました。箱根の森小学校の藪校長先生は最初から最後まで見学してくださり、子ども達に温かい拍手や言葉をかけてくださいました！保護者の皆様も日差しが暑い中ご参加ありがとうございました！



2歳児の世界をのぞいてみよう

雨上がりのある日。2歳児ちゅうりっぷ組がホールで遊んだ後保育室に戻ってきました。乳児園庭では、急に降った雨が上がったので今がチャンスと片づけてなかった玩具を保育者が片づけていました。その様子を子ども達が窓から見つけ、「何をやっているの～」「おもちゃを片づけてくれている？」「そうだそうだ～」「〇〇先生～ありがとー！」「ありがとー！」この後ありがとーのダンスが始まります…会話が成立していました。普段の大人の会話を聞いて学んでいること、そして自分たちのためにしてくれていることを感じ、感謝の気持ちが育っていること…感動しました。子どもは日々アンテナを張り吸収していることが分かり丁寧に関わっていくことの大切さを改めて感じました。



箱根写真美術館へ

写真家で遠藤桂様（楓月さん父）の美術館にお招きをいただきアメリカ人写真家のブルースさんとお会いする素敵な体験をしてきました。ゴミから作る光のアート体験で、事前に園で光に当てたら面白いかも？というのをコンセプトに土台を作成し、実際の美術館に行って作品を置いてみたり付け足したりしていました。ブルースさんの作品も鑑賞させていただき本物のアートを感じました。ブルースさんに「ブラボー！」と言われたさくら組は自信をつけて帰園しました。



仙幼すすきのこ 10月

すすきと遊ぼう！10/18

箱根教育合言葉 箱根を愛し かしく・やさしく・たくましく

令和6年10月23日(水)

箱根町立仙石原幼児学園

10月も後半となり朝夕の冷たい風、すんだ青空に秋の深まりを感じています。先日、箱根巡りに行ってきました。大平台から登山電車に乗り、ケーブルカー、ロープウェイを使って大湧谷に向かいました。大湧谷につくと、硫黄のにおいに「へんなにおいする!」「たまごかな」「じごくだにってすごいね。」「かざんってしってる。」など感じたこと、思ったこと、知ってることを話す姿がありました。

大湧谷で小休止をしたあと、ロープウェイで下り、4,5歳児は、姥子で降り、桃源台まで徒歩で、3歳児は、ロープウェイで向かいました。お昼は、お花の広場で美味しいお弁当を頂きました。食後は、秋の自然とたくさん触れて路線バスに乗って帰ってきました。箱根の半周を周り、改めて観光客が多いこと(中でも外国人が多いこと)と、箱根の自然のすばらしさを空の上から、山の上から野原の中で感じられました。今度は家族と一緒にでかけ箱根の自然を満喫できるといいですね。



を

中学生のボランティア

・毎年、夏休み中に中学生がボランティアとして、数名幼児学園にお手伝いに来てくれます。卒園生が希望してくれることも多く、私たち職員も当時の小さい頃を思い出して、懐かしく、また心も体も大きく成長したことを感じうれしく思っています。ボランティア後に、手紙を下さし、その手紙に感動しましたので、抜粋して載せて頂きます。「...ボランティアさせていただきありがとうございました。いかに幼児学園での人間関係や話す力、先生方が園児に厳しくする時の相手を思う気持ち。そしてその園児が人から教わったことを人に教えられるようにする考え、このボランティアで理屈がいかに人との関係の中で不要なものかと考えることが多々ありました。自分のやりたいことを見つける。それには、あらゆる人の話を聞き、体験して、自分の中で新たな興味の種が生まれることによって発見できる。私は、自分自身のやりたいこと、個性を見つけることができました...」と言う内容です。幼児教育が実体験を通して人とのかかわりを学んでいる事にボランティアを通して感じてくれてとてもうれしかったです。11月29日に中学生3人が職場体験に来ます。卒園生が園に来て子供たちや先生たちに触れたたくさんのことを感じ学んでいて欲しいと思います。

スポーツフェスティバル「げんき わくわく えがおで チャレンジ」 10/10

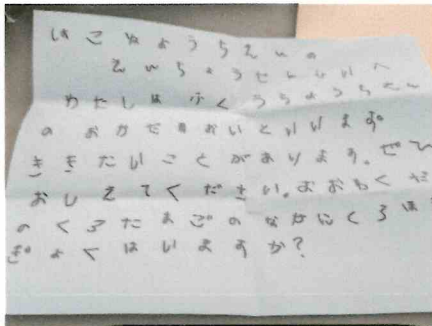
今年のスポーツフェスティバルは、年長児が考えた「げんき わくわく えがおでチャレンジ」をテーマに親子で楽しみました。第1部は、3歳児もも組でした。もも組は、好きなキャラクター(プリンセス、アイアンマン等)の手作り衣装に変身して走る競技やマイクパフォーマンスで、自分の名前を言ってからゴールまで一人ずつ走るなど3歳児らしいかわいさとい生懸命さが表れる競技が盛りだくさんでした。保護者と一緒に綱引きや玉入れも楽しみました。親子でずっと過ごせたのが嬉しくて、終始笑顔の温かい会となりました。第2部は4,5歳児ゆり、さくら組でした。今年度は、4,5歳児一緒にやることで、4歳児が憧れる気持ちや5歳児が思いやる気持ちがもてることをねらいとしました。また、保護者や地域の人の競技や未就園児競技をいれ、休息や応援する時間も入れ盛りだくさんのプログラムで行いました。年長児は、園で遊んでいるときから「勝ちたい!」気持ちが強く、リレーや綱引きも負けると悔しくて何回も取り組み、リレーの順番や綱引きの人数など子供たちが考えて進めてきました。当日のリレーの順番も前日子供たちが相談して決めたものです。子供たちは、自分の事も友達のこともしっかりわかっていました。当日もいい勝負で同じくらいの速さで展開したリレーに応援にも熱が入りましたね。初めの園長挨拶で、「勝つことが大事ではなく、勝つために一生懸命頑張る事、そしてみんなで力を合わせることが大切です」と話をしました。それは、子供たちが日々遊んでいる姿から私が改めて感じたことでした。4歳児もそんな年長さんの姿に憧れ必死に頑張っている姿がありました。どのプログラムも笑顔とそして一生懸命取り組む姿に自信がみられ、一人一人がとても輝いて、思い出に残る素敵な会となりました。当日は、お忙しい中参加をしていただき、ありがとうございました。当日はいつも増して子ども達の張り切る姿、笑顔があり、改めて、保護者の笑顔、応援が子供の意欲、自信につながることを感じた一日でした。保護者のアンケートにも「親子の絆を深めることができた。」「親子参加型は、幼児の時にしかできないので続けて欲しい。」「やる気あふれる姿に成長を感じました。」「ももさんだけの運動会とてもよかったです。」等と感想をいただきました。今年度は1年生に箱根の森小学校と仙石原小学校に在るため、2校の運動会を見学させていただきました。プログラムの順番や内容も異なる両校の運動会をみてコロナ禍明けの運動会の取組に変化が見られたように思います。次年度も子供たちと職員が、その年の子供に合わせた素敵な会を作って行きたいと思います。お忙しい中、参加ありがとうございました。



箱根幼稚園だより すまいる

箱根教育合言葉 「箱根を愛し、かしこく、やさしく、たくましく」

9月の終わりに、湯河原町立福浦幼稚園の年長の女の子から「はこねようちえんのえんちょうせんせいへ ききたいことがあります。ぜひおしえてください。おおわくだにのくろたまごのなかにくろほうぎょくはいますか」という手紙が届きました。「くろほうぎょく」とはこびとずかんに載っているこびとのひとりで大涌谷の黒たまごができる時に現れるとの説明書が同封されていました。年長児にその手紙を見せると「黒たまごはしっているけどくろほうぎょくはみたことないな。」「大涌谷にいるなら捕まえに行ったらあげようよ。」という意見が出ました。そのことを福浦幼稚園の友達に電話で伝えると、相手の女の子も大喜び！「おねがいします！！」と頼まれました。「友達のために役に立ちたい。箱根のことならば自分たちの出番だ。任せて！」とその気持ちは一層大きくなっていきました。説明書にはくろほうぎょくの大きさは5～6cmと書いてあります。早速ものさしで測ってみます。「この大きさなら虫取り網と虫かごをもっていけばいいね。双眼鏡も持っていこう。」必要なものも自分で考え用意しました。そこで年長児は大涌谷へくろほうぎょくを探しに出かけました。大涌谷は2015年の噴火から自然研究路への立ち入りは小学生以上になっています。黒たまごを実際作っている場所へ行けませんでしたが、ジオパークで放映していたビデオの中にくろほうぎょくを発見することができました。園では、福浦幼稚園の友達に報告できるよう、くろほうぎょくが見つかるまでの様子を担任の先生と年長児と一緒に今ドキュメンテーションとして作成中です。これからも、この交流が続くことを願っています。



福浦幼稚園の年長児から届いた手紙

奥箱根観光さんに行ってみました。「ヘルメットを貸してあげよう。」「見つかるといいね。」



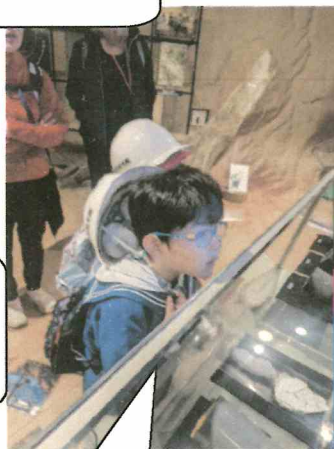
大涌谷はあつちかな？
「くろほうぎょくどこ？」



ここからでは見えないね！

ジオパークの学芸員さんに案内していただき黒たまごができるまでのビデオを見てみると「あ、いた！あれがくろほうぎょくだ！」学芸員さんも「見られてよかったね」と一緒に喜んでくれました。

黒たまごのお土産ってたくさんあるね。黒たまごって人気なんだ。お土産にも興味を持ちました。



真剣なまなざし



くろほうぎょくがかじったあとな



箱根 DMO・奥箱根観光・総務防災課の方などたくさんの方が寄り添ってくださいました。子ども達にはたくさんの大人の人が力になってくれることを伝えたいと思います。

芸術の秋

地域の芸術家市川さんをお願いし、小学生と一緒にマーブリングを行いました。マーブリングは、水の中に液体を落とし、串などで優しく混ぜるとマーブル模様ができ、それを紙に写し取るアート技術のことです。誰にでも簡単にできるけれど同じものではなく、とても楽しい活動です。3歳到達児から小学3年生まで何枚も繰り返し行いました。年中児のはると君は液体のたらし方もうまいたくさんの作品を作り出しました。絵画活動という身構えてしまいそうですが、このマーブリングは、うまい下手などなく作るたびに違う作品ができます。これからもこんな楽しい経験を幼児期にたくさん積んでいきたいと思います。市川さんにはもうすでに次の構想もありそうです。ご協力ありがとうございました。



スポーツの秋

箱根幼稚園の運動遊びの日は、ここ数年卒園した小学生に協力してもらい一緒に行っています。今年は、10名の卒園生が参加し、にぎやかな運動遊びの日になりました。園児は、赤白に分かれて綱引きやリレー、玉入れなどを行いました。初めてだった3歳到達児や3歳児もチームの一員として頑張っていた姿は、何とも頼もしかったです。小学生と一緒に行った「もの取りゲーム」では、小学生が作戦を考えてくれました。「小さなものをたらいに入れて一度に運ぶ作戦」もう一つは「小さなこは小さなものを取り、小学生が大きなものをとる作戦」でした。どちらもさすが小学生です。園児はその考えを理解し、その通りに行動しようとしていました。年長児は、運動遊びの日に自分なりの目的をもち取り組む姿やグループのリーダーという意識が芽生え成長を感じます。年中児は、勝敗にこだわったり自分の得意なものを披露することを喜んだりし、初めて参加する年少児や3歳到達児は大きい組の行動をみながら一緒に頑張ろうとしていました。なにより保護者の方や小学生と体をたくさん動かし楽しそうにしていた姿は嬉しいことでした。気持ちの良いこの季節、これからも体を動かすことの心地よさや楽しさを一緒に体験していきたいと思います。小学生の皆さん用具係も積極的に行ってくれてありがとう!!



第2回廃品回収のお礼

9月に行いました廃品回収は、地域の皆様のご協力のおかげで、12,820円の収益がありました。誠にありがとうございました。園への持ち込みなど皆様にはご負担をおかけしますが、今後もどうぞよろしくお願いいたします。回収依頼などありましたら気兼ねなく園へご連絡ください。

食欲の秋 年長児の今年のテーマの一つは「食」園庭の畑へ熱心に向かい、大きく実ったピーマンやオクラ、なすなどを収穫しては、包丁で切ったりフライパンでいためたりし友達や保育者にふるまってくれました。「おいしい。ありがとう。」と誰かが喜んでくれることに喜びを感じ始めています。そんな畑の野菜を使い、ピザづくりをしました。この日は、未就園児の親子の方も4組参加し、仙石原にお住いのピザづくりの上手なお母さんお手伝いに来てくれました。捏ねるところは、子どもの力だけでは思うようにいきませんでしたが、苦労した分出来上がったピザは格別なようでした。

10月11日には、地域の杉山さんの畑で「べにあずま」を収穫させていただきました。とてもきれいな色のお芋をたくさん収穫しました。その中でお気に入りのお芋の一つを選び自分のリュックに入れ、石畳をしっかりと歩いて帰ってきました。3歳到達児のりおちゃんとかいりくんも楽しみながら帰ってきた姿には、驚きました。8人と過ごしていると年齢に関係なく「みんなと一緒に」がよく、少し大変なことにも挑戦しやってしまうのですね。この子たちがどんな年長児になるのか楽しみです。杉山さんは、「来年も待っているよ。」と子ども達に声をかけてくださいました。温かいご支援に感謝します。このサツマイモを使って11月6日に焼芋をします。地域の皆様、ぜひ遊びにいらしてください。

